

平成 28 年度第 1 回豊能町総合教育会議 会議録

【概要版】

日 時：平成 28 年 5 月 19 日（木） 午前 9 時 30 分～10 時 52 分

場 所：豊能町役場 2 階大会議室

出席者：構成員 田中龍一町長 石塚謙二教育長 岸本恵子教育長職務代理

太田佳子委員 宮崎純光委員 川村新委員

出席者 板倉教育次長 小田教育支援課長 小嶋生涯学習課長

川西子ども支援室長 （塩山教育総務課長は欠席）

事務局 内田総務部長 上浦総務部次長兼秘書政策課長 浅海秘書政策課長補佐

傍聴希望者：1 名

1. 議長（町長）あいさつ

2. 議題

（1）豊能町教育大綱骨子（案）について

3. その他

開会 午前 9 時 30 分

議 長（町長）

- ・町長としての任期が今年の 10 月までとなっており、教育大綱については、現在は骨子のままとしたい。

出席説明者（教育委員会）

- ・資料 3 の「豊能町における小中一貫教育の充実」について教育委員会から説明

議 長

- ・豊能町教育大綱骨子（案）について説明
- ・前回までの第 1 項目から第 4 項目までの項目に加え、小中一貫教育についての答申内容を踏まえ、第 5 項目として、保幼小中一貫教育のビジョンについて追加したので、意見を伺いたい。

委員の主な意見

- ・「地域特性を活かした」や「豊能町ならではの教育」などの表現は全体にかかる方がよい。
- ・基本理念の部分に盛り込んで表現を整理する。
- ・サブタイトルの「教育のまち とよの」をめざしてとあるが、めざしてという言葉は以前からあり、いつまで「めざす」のか。文言を修正すべきではないか。
- ・第5項目の「ビジョンの構築」という表現のイメージはどういうものか。
- ・教育委員会としてのビジョンと、町長もしくは町当局のビジョンがそれぞれあることは、矛盾しない。
- ・大綱骨子（案）の「ビジョン」は町長、町当局の統一した「ビジョン」。
- ・「ビジョンの構築」とするのか「ビジョン」までにするのか文言の整理が必要では。
- ・文化やスポーツ行政における地域特性をどのように考えるべきか。
- ・ハイキングコースや高山右近とは違う、住民の自発的な特性がある。
- ・盛んな公民館活動などをはじめとした、自発的な文化活動を通じた「人の特性」も地域特性として、今後の大綱に盛り込めるのではないか。

決定事項

1 豊能町教育大綱骨子（案）について

- ① 町長の任期の関係で、今回の大綱骨子（案）については骨子のままとする。
- ② サブタイトルの「めざして」を削除するか「さらなる充実へ」という風に変更するか（基本理念の末尾も合わせる）。
- ③ 「豊能町の地域特性を活かした」という表現を基本理念の部分に挿入し、全体にかかるようにする。
- ④ 第5項目のタイトル末尾「ビジョンの構築」という表現の整理。
- ⑤ その他議論になった内容は、今後の大綱策定の際に盛り込めるよう検討する。
→②～④の決定については、町長に一任する。

3. その他

町の取組みについて報告

- ・教育委員会委員定数条例案を6月議会定例会に上程予定。
- ・見守り事業の実施について
- ・防犯カメラの設置について
- ・自治会所有の防犯灯LED化補助について
- ・子どもの安全見守り隊について

《閉会 10時52分》